

地域活性化学会シンポジウム

日時：2009年7月12日（日）13：00～15：30

会場：法政大学外濠校舎 7階 さったホール

テーマ：地域活性化イノベーター（人財）育成、地域ビジネスの創出

概要

地域経済は公共事業依存からの脱却が必要とされ、民間企業を中心とした持続可能な経済基盤の構築を迫られている。

更に、現在の世界的な金融経済危機の下で、企業のリストラが急速に進行し、地域経済は、嫌が上にもグローバルな競争の中で独自の存在力を有する事業を地域に育てていくことが必要とされている。地域経済活性化のために事業再生を支援する企業再生支援機構法案も衆議院を通過し、これまでの地域活性化に対する各種支援策に加えて事業再生のスキームも整えられてきた。

こうした中で、地域資源を活用した起業や新たな環境に適用する事業再生を進めていく人財、所謂 地域活性化イノベーターを地域の中にかにしていかにして育成していくことができるのか、実際に起業や事業再生で実績を上げている経営者、地域の大学関係者、自治体や行政等産官学の関係者がパネルディスカッションを行う。

パネリスト

起業・事業再生

ファミリー株式会社 代表取締役社長 稲田 二千武

鳥取県大山地域出身の企業家。一代で国際的なマッサージチェア会社ファミリーを起業、世界シェアトップ企業に発展させた。貢献心、特に出身地鳥取県、大山などへの地域貢献にも早くから取り組み、地元への工場立地、各種貢献事業を企業的にも成功させてきている。本年度は、鳥取大学と連携して、同大学の大山活性化講座の開設を資金、人財面で支援。盛和会関西支部代表世話人。

女性企業家（ソーシャルアントレプレナー）

株式会社アセンダント 代表取締役 大和田瑞乃

一級建築士として大和田建築事務所取締役を務めるとともに、公衆衛生分野での研究者として健康・福祉のまちづくりなどでも見識。温泉地の活性化を健康のための温泉利用の促進や国際交流を通じて実現するため、各種調査、国際交流活動を実施。イタリアアバノからファンゴ（温泉泥）を導入し、日本国内で各温泉地特有のご当地ファンゴを発展させること等で温泉地の再生に取り組む。稲田社長の進める大山活性化プロジェクト東京フォーラム事務局長

大学

法政大学 大学院政策創造研究科 教授 岡本義行

地域活性化学会副会長、地域の産学連携、地場産業等中小企業論の専門家

国（大学）

大阪大学 特任教授 御園慎一郎

元総務相自治財政局次長、厚生労働省老健局審議官、地域再生本部事務局副室長。国の地域活性化政策、特に高齢社会における医療・福祉のあり方を見つめた地域活性化策について様々な取り組みを支援してきている。

自治体・小樽市

農林水産省 大臣官房政策課 企画官 木村俊昭

小樽市から地域活性化統合事務局、内閣府、農林水産省に出向し、地方行政の視点から地域の活性化に向けた政策形成や地域活性化システム論を通じた地域の地域活性化人材造りを主導。地域の活性化のためには起業や事業再生による地域産業の創出が必須と説く。

司会 内閣府大臣官房審議官 舘 逸志

経済財政運営担当審議官として現在、企業再生支援機構法案を担当。地域経済の活性化のための事業再生の仕組みづくりに取り組む。

(敬称略)